

宮城県仙台市宮城野区福田町方言の副助詞

玉懸 元

I. はじめに

1. 調査対象地： 仙台市福田町は、仙台市中心部（JR仙台駅周辺）から東へ約7kmに位置する。最寄りの福田町駅から仙台駅までの所用時間はJR仙石線にて約15分である。
福田町は旧来農村地帯であったが、1980年代初頭からは農地が減少しはじめ、徐々に住宅地化が進んでいる。とはいえ、生え抜きの住人も多く、共通語化の進む仙台市の中にあっても今なお「方言」を豊かに聞くことができる土地である。
2. 調査年月日： 1999（平成11）年4月25日 午後1時～3時
3. 話者： 桜井 光恵 1929（昭和3）年3月9日生（70歳）
4. 調査者・調査場所： 玉懸 元，高砂市民センター会議室（調査補助者として、東北大学大学院生・藤原希世氏と同学部生・山田康晴氏の協力を得た）
5. 調査方法： 統一調査票による質問調査
6. その他： ①当方言は無型アクセント方言であるので、アクセント記号は記述に使用しない。
②話者の内省の内容を示す場合は { } 内に示す。

II. 調査結果

（1）添加・例示・提題などをあらわすもの

A. 添加

1. 雨だけでなく風さえ吹いてきた。○アメバリデナク カゼマデ フイデキタ。
2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。○コトスワ ホーサグデ コメバリデナグ ムギモ ヨグ トレタナー。（注：「ばかり」と「か」とは接続しない（36.も参照のこと）。なお、「バリ」は共通語「ばかり」に相当する方言形である（「Ⅲ. 総括」を参照のこと）。）

B. 予想外の事実

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。○ショーガッコウデサエンドモ ワープロツカッテンダッケナー。
4. （宝くじが）当たると思っていなかっただけに嬉しい。○アダルドモ オモッテナカタノニ アタッタカラ ウルスィーヤー。

C. 条件

5. 暇さえあれば釣りに行っている。○アノヒト シマサエ アレバ ツリッコサ イッテンダッチャー。

D. 例示

6. まあお茶でも飲んでください。○ホーリャ オチャデモ ノンデケサインヤ。
7. みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。○コノ マンズーナンカ ナジョダベー。
8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。○ビックリスタヤー。トビアガルケニ ウレスカッタヤー。

9. まさかあなたにまで話がいくとは思わなかった。 ○マーサガ アンタヌマデ ハナステ
ラレット オモツテネガッター。
10. 殴るやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。 ○ナグツタリ ケタグツタリ オドケデネー
ランボー シタンダドサ。
11. 私になり相談してくれればよかったのに。 ○オラサデモ ソーダンステケレバ イガ
ツタノニナー。
12. 野菜なんていくらでもできる。 ○ヤオヤナンテ ナーンボデモ デギツチャー。 (注：
「ヤオヤ」は「野菜」の意の俚言。)

一対の語の例示

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。 ○ショーユダツテ ミソダツテ ツグッ
テタンダヨー。

択一

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。 ○ワダスカ オトートカ オテツテヌ イグカ
ラー。

例外でない

15. 村長とて、そうするより仕方なかったんだらう。 ○ソンチョダツテ ホイナグ スル
ヨリホガ スカタナガツタンダベナー。

列挙

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。 ○ハルラスグナツテキテワー ンメモ サ
グラモ イッペンデ サイタヤー。

同類の暗示

17. テレビもそろそろ買い換えよう。 ○テレビモ フツチャゲダガラワー コンド カイ
カエツカワ。

やわらげ

18. まあお茶でも飲んでください。 ○マー オチャデモ ノンデケサイン。

E. 包括

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。 ○オボン ナット ムスコヤ マゴダズ ケツテク
ツカラー。 (注：{人間をくくる場合「ナド」は不自然。「サッカーや野球などができる」
といった場合なら「ナド」も可能であるが、その場合でも「ナンカ」の方が自然。})

F. 提題

20. ゲートボールだってできるよ。 ○ゲートボールアツテ デギルヨ。

話題にあげる

21. 何だい、いいことって。 ○ナニヤ イーゴドツテ。

極端なものの提示

22. そんなこと子供にでもできるよ。 ①ソーンナゴド コドモニダツテ デギッペツチャ
ー。 ②ソーンナゴド コドモニデモ デギッペツチャ。
23. 食べることくらいはなんとかしたい。 ○ケーゴドグレワ ナントガ スネクテナー。

24. 名前すらろくに覚えていない。 ①ナーメモ ログスッポ オボエデネーワヤー。 ②
ナメーサイ ログスッポ オボエデネー。

25. 弁当代に千円もかかった。 ○ベントーダイニ センエンモ カカッタナヤ。

軽いものをあげる

26. これさえあればもう大丈夫だ。 ○コレサイ アレバ モー ダイジョブダ。

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

G. 分量・程度

27. 旅行で三日ほど家を空けた。 ①リョコーデ ミッカバリ イエ アゲタヤー。 ②リ
ョコーデ ミッカケー イエ アゲタヤー。

28. 茶碗に半分くらいください。 ○チャワンサ ハンブングレー ケサイン。

29. 子供にだって分かるくらいのやさしい本だ。 ○コドモニダッテ ワガルッケノ ヤサ
スイ ホンダヨ。

30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 ①イッシューカングレー ルスヌスッカラ タ
ノムガラネー。 ②イッシューカンバーリ ルスヌスッカラ タノムガラネー。

H. 基準

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ○コトスワ キョネンナツケー サムグネーナー。

I. 理由

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。 ○チョココラ ユダンシタバ
リデ ヤズモネーゴドヌ ナッテスマッター。

J. 「それにふさわしく」

33. 苦労しただけあって人間ができています。 ○クローシタツケーダガラ ヌンゲン リッ
パダオンネ。

形式名詞的用法

34. 毎日孫のお守りやなんかで忙しい。 ○マイヌズ マゴコンモリヤナンカデ イソガス
インダ。

「それこそ」

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。 ○ソレコソ バーゲツ シックリ
カエシタヨーナ オーアメダナー。

「～ばかりか」

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。 ○オトツチャンバッテナグ オカツチャンモナー ハ
シндаオンナヤ。(注：{普段、スポーツといえは走ることくらいしかしない})

K. 今にも行われる

37. もう食べるばかりにしてある。 ○イマ クーバリヌ シッタングワー。

動作の完了後

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。 ○イマ スゴトガラ アガッテキタバリダ。

基準

39. 駅までもうちよつとだ。 ○テーシャバマデ モー スコスダー。

L. 等量の反復

40. 一人ずつ呼んで話をした。 ○ヒトリズズ ヨンデ ハナススタンダ。

M. 等量の配分

41. 一人に二つずつみかんをあげてください。ヒトリサ フタツツズツ ミカンヤッテネー。

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N. 限定

42. 酒はたまにしか飲まない。 ○サゲワ タマヌスカ ノマネー。

43. 今朝は寝坊をしてパンだけ食べてきた。 ○ケサ アサネステ パンダゲ クッテキタ
ワヤー。

44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 ○ソソナヌ ベンキョーバリシテット ア
ンペー ワルグナット。

45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった(田植えのこと)。 ①オラエナバ
リ ノゴツテワヤー ミナエデ ミナ オワツタンダワー。 ②オラエナツキリ ノゴッ
テワ ミナエデ ミナ オワツタンダ。(注：{①のようにバカリを用いた方が自然であ
る}。なお、「オラエ」「ミナエ」はそれぞれ「私の家」「皆の家」の意。)

O. 強調

46. もうこれだけしかないよ。 ○モー コイズスカ ネーンダガラワ。

47. 今年こそいい年にしたい。 ○コトスコソ イートスヌ ステーナヤー。

P. 限界

48. これだけ言っても分からないのか! ○コノクエー イッテモ ワガンネノガ。

49. 二千年くらいまでなら何とかなる。 ○ヌセンエングレマデダラ ナントガナルヨ。

(4) 陳述的なもの

Q. 「～ば～だけ」

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。 ○ベンキョースレバ スッタダケ イグナンダガラ
ガンバレヨ。(注：本来の調査文の内容に話者がどうしても納得しなかったため「勉強す
ればするだけ成績があがる」という調査文に切り替えた。)

「仮定形・ば・こそ」

51. 心配すればこそ言うんだ。 ○スンペアー スレバゴソ ユーンダヨ。

「こそ・仮定形」

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。 ○アイズ モンクバリユッテ ヒト
ノ ユーゴドナンテ チカネーンダガラ。

53. 「～こそアレ《こそアレなども》」という言い方はありますか。 ○{日常の話しことば
としてはない}。

「未然形・ば・こそ」

54. 押しでも引いても動かばこそ。 ○ゴージョーデ シッパッタッテ オスタッテ ウゴ
ガネー。(注：{文意は取れるが「こそ」のこのような用法は日常的でない。日常の話し
ことばでこの文意を表現するとすればこのようになる。})

「~こそ。」

55. 失礼なことを言わないでこそ。 ○{調査文の文意がとれない}

「~こそ~が」

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。 ○イマゴソ イエガラ デネケン
ド ムガスワ ヨグ デアルイタノサナー。

「~ば~ほど」

57. 働けば働くほどもうかる。 ○カシエグバ カシエグホド モーガンダヨ。

R. 打ち消しとの呼応

58. 村長に聞くまでもないことだ。 ○ソナゴド ソンチョサンヌ キグマデモ ネーコ
ッタッチャ。

否定との呼応

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。 ○アサッカラ イソガスケテ ヒルマンマモ クァ
ネッタヤー。

否定的取り上げ

60. こんなものなどいくらでもあるよ。 ○コイナンダラ ナンボデモ アルヨ。

全面否定

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。 ○ダーレダッテ ホンナゴド イワッタラ
ゴシャグッチャー。

S. 次の動作が不可能

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。 ○ジューネンマエヌ デデッタ
キリ ズッカサ イッペンモ コネンダドサ。

(5) モダリティ的なもの

T. 不確かな気持ち

63. いつのまにやら寝てしまった。 ○イズノコマニカ ネデスマッタワヤー。

64. 何のことか分からない。 ○ナーヌ カタッテンダガ サッバリ ワガンネー。

推定

65. 後で遊びに行くかもしれない。 ○アドデ アソビス イッカモシンネヨー。

どちらか分からない

66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。 ○クンダガ コネンダガ ワガンネーナヤ。

はっきり言わない

67. どこやらへ引越したそうだ。 ○ドゴサダガ イッタンダズーワンナヤ。

U. 非難

68. お父さんたら今日も遅いのね。 ○トッチャンダラ キョーモ オソインダッチャー。

69. お父さんてば、子供のようなことを言って。 ○トッチャンテバ ワラスコミデアナゴ
ド ヌツテ。

Ⅲ. 総括(まとめ)

当方言の副助詞について、共通語と対比するという立場から、特に差異の見られた点を整理しておく。

1. 形態

1. 1 「ばかり」について

当方言のバカリにはいくつかの形態的バリエーションがある。すなわち、「バガリ」([bagari] または [bavari])・「バーリ」([ba:ri])・「バリ」([bari])である。

なお、これらの間には文体的差異があり、「バガリ」は「バーリ」「バリ」に比して共通語的であらたまった形態と意識される。

1. 2 「くらい」について

当方言のクライにはいくつかの形態的バリエーションがある。すなわち、「グレー」([ɲure:])・「グレ」([ɲure])・「ケー」([ke:] ときに [kɛ:])・「ケ」([ke] ときに [kɛ])である。

なお、これらの間には文体的差異があり、「グレー」「グレ」は「ケー」「ケ」に比して共通語的でややあらたまった形態と意識される。

2. 不使用形式とその代用形式

2. 1 「なり」について

「なり」は使用されない。理解語彙であるが、{書きことば風の印象}を当方言話者には与える。代して、例示の用法の場合に「デモ」、択一の用法の場合に「カ」が使用される。

2. 2 「やら」について

「やら」は使用されない。理解語彙であるが、{書きことば風の印象}を当方言話者には与える。代して、「カ」が使用される。ただし、例示の用法の場合には、「～タリ～タリ(ex. 殴ったり蹴ったり)」の形式が使用される。

2. 3 「ほど」について

「ほど」は、あまり使用されない。代して充当されるのは、クライである。当方言においては、クライの用法が広く、共通語「ほど」の領域をもクライが担っている。例えば、

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ○コトスワ キョネンナツケー サムグネーナー。
のような場合、共通語においては「くらい」の使用はかなり不自然であると思われるが、当方言においては自然にクライが使用される。

(たまかけげん 東北大学大学院生)